様式第16号の４

申請に係る市町で栽培されていない農作物又は生育に時間を要する作物を

栽培する場合における栽培理由書

年　　月　　日作成

営農者（営農型発電設備の下部の農地において営農する者）

住所

氏名

転用事業者（営農型発電設備を設置する者）

住所

氏名

１　営農型発電設備の下部の農地で栽培を予定する農作物の名称と当該作物を選定した経緯

　　（作付予定作物名：　　　　　　　）

　　（経緯）

|  |
| --- |
|  |

２　単位面積当たりの収穫量の見込み

（　　　　　　kg/10a）

|  |
| --- |
| （単位面積当たりの収穫量の見込みの根拠） |

３　作付けから収穫までに要する期間

（　　　年　　月）

|  |
| --- |
| （収穫までに上記期間を要する理由） |

４　当該作物に係る知見を有する者からの営農協力について

|  |
| --- |
|  |

(記載要領)

ア　１の「経緯」の欄には、当該作物を栽培することによる農業経営上のメリット、土性や気象等の条件への適合性、営農者の栽培経験や知識の有無等に基づき、当該作物を選定することとなった経緯を具体的に記入してください。

イ　２の「単位面積当たりの収穫量の見込みの根拠」の欄には、当該作物の収量に関する調査研究データや統計データのほか、自然条件に類似性のある他地域のデータ等を用いて記入し、その資料を添付してください。

ウ　３は、作付けから収穫までに要する期間が１年を超える場合に記入してください。

エ　３の「収穫までに上記期間を要する理由」の欄には、当該作物の収穫までに要する期間について、調査研究データや統計データ等を引用して記入し、その資料を添付してください。

オ　４には、営農の適切な継続のため、営農型発電設備の下部農地での栽培に支障が生じた場合における知見を有する者による営農指導等の体制整備について記入してください。